

5月の日経平均株価

5月の日経平均株価は月末終値が4月末に比べ、328円27銭(2.29%)高の1万4632円38銭となった。月間としては今年初の上昇。日銀による早期の金融緩和期待の後退で、円相場がほぼ半年ぶりに1ドル=100円台に上昇したことを嫌気して1万4000円近辺まで下げる局面もあった。その後円相場の上昇が一服したことに加え、ウクライナの大統領選挙が混乱なく終わり、投資家のリスク許容度が拡大したことから月末にかけ堅調に推移した。

今月のトピック: 業種別日経平均: 株式相場底入れの兆し、主役の業種は?

今年に入ってほぼ一本調子で下落を続けていた株式相場に底入れの兆しが見え始めた。日経平均株価は5月、今年初めての月間上昇となり、4月14日の年初来安値からは5.19%高い水準にある。では、回復の主役は何か。業種別日経平均株価で年初からの動きを分析してみると、4月まで下げの大きかった業種の反発に加え、規制緩和期待や特定の材料を手掛かりにした業種の上昇が相場を下支えしているのがわかる。

まず、業種別日経平均の昨年1年間の騰落と、年初から直近の底である4月14日までの騰落を比較してみた(表1)。通信、証券、その他金融など昨年1年間の上昇率が高い業種が年初から4月にかけて大きく下げており、逆に昨年の上昇率が高くなかった業種の下げが小さい、いわゆるリターンリバーサル動きが鮮明だ。

表1: 2013年の年間騰落と昨年末から4月14日までの騰落の比較

業種別	順位	2013年 年間騰落率(%)	業種別	順位	昨年末から4月14日 までの騰落率(%)
通信	1	130.6	水産	1	1.2
証券	2	95.2	食品	2	-4.3
海運	3	80.2	ガス	3	-4.5
その他金融	4	75.8	鉱業	4	-5.3
不動産	5	68.9	陸運	5	-5.4
造船	6	66.5	窯業	6	-6.3
日経平均	-	56.7	日経平均	-	-14.6
医薬品	31	30.7	通信	31	-19.3
繊維	32	28.6	電力	32	-20.2
鉄道・バス	33	27.5	不動産	33	-21.2
ガス	34	23.1	海運	34	-21.7
鉱業	35	21.9	その他金融	35	-23.8
水産	36	18.5	証券	36	-26.4

一方、4月14日から5月末での騰落率をランキングしたのが表2。年始から直近の底までの下げのきつかったその他金融、通信、不動産が、再び反発するといった、さらなるリターンリバーサル動きもあったが、鉄道・バスや鉱業のように年初来底堅く、4月14日から直近までも堅調な業種もあった。

複数の市場関係者に聞いたところ、好調な業種は、「リターンリバーサルもあるが、規制緩和や外部環境を手掛かりにした個別材料が手掛かりになっている」という。例えば、その他金融は、「貸金法の上

限金利の緩和への期待」、不動産や鉄道・バスは、「国家戦略特区への容積率への緩和期待が背景にある」との声があった。また、鉄道・バスや通信の一角は「今年1月から始まった少額投資非課税制度（NISA）の税制優遇と株主優待や好配当を狙った個人投資家から人気が出ている点も見逃せない」との指摘もあり、NISA については非課税枠の拡大が報じられている。また鉱業については、「落ち着いてきたとはいえ依然不透明なウクライナ情勢を背景にした原油など資源価格高が影響している」という。

表 2: 昨年末から 4 月 14 日までの騰落と 4 月 14 日から 5 月末までの騰落の比較

業種別	順位	昨年末から4月14日までの騰落率(%)	業種別	順位	4月14日から5月末までの騰落率(%)
水産	1	1.2	その他金融	1	12.6
食品	2	-4.3	電力	2	10.7
ガス	3	-4.5	保険	3	9.7
鉱業	4	-5.3	陸運	4	9.0
陸運	5	-5.4	鉱業	5	9.0
鉄道・バス	11	-8.0	鉄道・バス	9	8.7
日経平均	-	-14.6	石油	10	8.5
保険	30	-17.5	通信	12	8.1
通信	31	-19.3	不動産	15	7.3
電力	32	-20.2	日経平均	-	5.2
不動産	33	-21.2	食品	27	4.5
海運	34	-21.7	海運	31	3.1
その他金融	35	-23.8	水産	34	0.2

株式相場は底入れの兆しが見え始めたとはいえ、東証1部の売買代金がほとんどの日で2兆円を下回るなど、市場エネルギーに乏しい状況が続いている。ただ、業種別指数を読み解くと、規制緩和を手掛かりにした動きがみられ、「今月に発表を控える政府の成長戦略の内容がいかに重要で、今後の動向のカギを握っているかを物語っている」(市場参加者)という見方もできそうだ。

日経指数月次サマリー(2014年5月)

○日経平均およびその派生指数

(データは5月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	14632.38	2.29%	0.04%	1.56%	16121.45	1月8日	13910.16	4月14日
日経平均トータルリターン	21340.48	2.30%	0.04%	1.57%	23327.25	1月8日	20271.52	2月4日
日経平均ボラティリティ	19.75	-12.26%	-0.15%	4.60%	33.21	2月4日	19.75	5月30日
日経平均VI先物	63697.35	-14.37%	-0.13%	2.57%	97741.36	2月4日	63697.35	5月30日
日経平均カバードコール	13038.30	2.32%	0.03%	1.35%	14030.41	1月8日	12348.19	2月4日
日経平均リスクコントロール	15342.02	1.42%	0.02%	0.73%	16161.58	1月8日	14898.08	4月14日
日経平均レバレッジ	9121.73	4.38%	0.07%	3.12%	11295.91	1月8日	8275.01	4月14日
日経平均インバース	3449.60	-2.49%	-0.04%	1.56%	3651.06	2月4日	3193.30	1月8日

指数名	指数値	昨年比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	9.83	6.39%	9.83	2014	2.05	2000

○ベンチマーク、その他指数

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
JPX日経インデックス400	10945.82	3.38%	0.04%	1.38%	11800.26	1月8日	10314.83	4月14日
日経株価指数300	244.35	3.60%	0.03%	1.39%	265.90	1月8日	229.49	4月14日
日経中国関連株50	1275.88	2.07%	0.01%	1.39%	1399.88	1月8日	1220.64	2月4日
日経500種平均株価	1270.31	3.66%	0.05%	1.37%	1348.15	1月8日	1191.33	2月4日
日経JAPAN1000	1417.71	3.38%	0.03%	1.40%	1541.51	1月8日	1335.72	4月14日
日経ジャスダック平均株価	2008.28	2.77%	0.02%	1.07%	2187.50	1月22日	1890.85	5月19日

注: 平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出

日経配当指数の昨年比は昨年5月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレーマー】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害については、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。